

序文

近年、世界はいくつもの危機に見舞われた。金融・経済の混乱は所得や仕事、安定性の損失を通じて世界経済を崩壊させた。猛烈な自然災害がハイチから日本に至るまでの地域社会全体に打撃を与え、その後に死者と経済的損失の長い列を残していった。地球温暖化の懸念が高まり、致命的な感染症の拡散に関する恐怖についても同様である。

世界中を旅しながら、私は同じ懸念を耳にしている。すなわち、われわれはどうしたら、そのようなリスクに対してもっと強靱になれるだろうか？ 『世界開発報告 2014 (WDR 2014)：リスクと機会——開発のためにリスクを管理する』は、この解決の急がれる疑問に対して答えを出すのに役立つだろう。

もう1つの懸念は、必要なリスクをとっておかないと開発機会の逸失という事態が生じるということである。機会の追求はリスク・テイキングを伴うが、特に貧困層を中心に大勢の人たちは往々にしてそうしつづけている。これは潜在的に否定的な結末を恐れているからである。行動を起こさないことによって人々は貧困の罠に閉じ込められる。そして、環境の悪化に対して脆弱なままに放置され、福祉を改善する機会の追求がますます困難になるだろう。

リスクの適正な管理ができなければ、それは危機や好機の逸失につながる。これは世界銀行グループが次の2つの目標を達成することに関して著しい障害をもたらす。すなわち、第1に2030年までに極貧を撲滅すること、第2に途上国の人口における底辺の40%層向けに繁栄の共有をもたらすことである。したがって、リスクの有効な管理は世界銀行の使命にとって、まさに中心的な課題なのである。『世界開発報告 2014』が証明しているのは、効果的なリスク管理は開発にとって強力な手段になり得る——人命を救い、経済的なショックを回避し、人々がより良い、より安全な未来を構築するのを助けることができるということだ。

本報告書は個人や諸機関に対して、「危機に対する戦士」から「能動的で体系的なリスク管理者」になることを要請するものである。リスクを認識して、それに備えることが十二分な利益をもたらすということに関しては、確固とした証拠がある。例えば、多くの途上国が最近のグローバルな金融危機に直面したにもかかわらず強靱性を発揮したのは、マクロ経済や金融、社会にかかわる政策をそれまでに改革していたからだ。

苦労して獲得した開発成果をリスクに対する強靱性の構築によって保護することが、繁栄を達成するには必要不可欠である。これは取り組んでいるのが自然災害や流行病、金融危機、コミュニティ・レベルでの犯罪の波、あるいは一家の大黒柱の重病のいずれであろうと当てはまる。リスクは完全に払拭することは決してできない。しかし、人々や諸機関は構造的な政策措置やコミュニティを基盤とした防止策、保険、教育、訓練、有効な規則などを含むバランスのとれたアプローチを適用することによって、リスクに対する強靱性を構築することができる。各国はさまざま

まな状況下でリスクを管理する方法を学んできているが、これまでのところ、発展途上世界におけるリスク管理に関連した研究は、利用が容易で参照しやすい単一の出所に統合化されていない。

今回の『世界開発報告』はこの間隙を埋めることを目指している。本書は、リスク管理を開発アジェンダの主流にする、および各国や各地域社会が独自のリスク管理システムを強化するのを手助けするという2つの目的において、貴重な指南書として機能するだろう。本報告書は世界銀行自体の運営におけるリスクに対するアプローチの変更に対しても、重要な洞察を提供してくれている。現在、世界銀行グループでは転換が進展中であり、それはリスクに関する制度的な文化の変化——極端なリスク回避から情報に基づいたリスク・テイキングへのシフト——を要請している。本年の開発報告は、最大のリスクは、おそらくまったくリスクをとらないことであろうと警告している。まさに同感である。

『世界開発報告 2014』が将来的な危機の危険性を最小化し、開発に向けたあらゆる機会をつかみとることを可能にするようなリスク管理に導く、ということが私の願いである。この面での成功は、われわれ誰もが望んでいる世界——貧困がなく、万人が繁栄を共有する世界——を築くのには有益であろう。



ジム・ヨン・キム
総裁
世界銀行グループ

目次

序文	iii
謝辞	v

概観 リスクと機会 1

概観 3

リスクは負担であると同時に機会でもある	4
リスク管理は開発にとって強力な手段になり得る	5
有効なリスク管理は何を必要とするか？	10
理想を越えて：リスク管理の障害	17
前進する方法：リスク管理にかかわる全体論的なアプローチ	20
家計	23
コミュニティ	25
企業部門	27
金融システム	31
マクロ経済	34
国際社会	37
リスク管理を主流化するための制度改革	40
結論：より良いリスク管理のための公的措置にかかわる5つの原則	44
結びへの一言	46
注	48
参考文献	51

Part I リスク管理のファンダメンタルズ 57

CHAPTER1 リスク管理は強力な開発手段になり得る 59

リスクと機会	59
リスク管理がなぜ開発に関係するのか？	61
リスク管理は何を必要とするのか？	66
リスク管理は費用効果的——しかし常に実施可能とは限らない	78
注	80
参考文献	82
スポットライト1 予想外の事態に備える：フィリピンとコロンビア における災害リスク管理に対する統合的アプローチ	84

CHAPTER2 理想の向こうに：リスク管理における障害とそれを克服する方法 89

適切なリスク管理の機会を失う	89
なぜ人々は自分自身のリスクを上手に管理することができない のだろうか？	91
個人のコントロールを超えた障害がリスク管理を阻害する	95
国家はなぜうまく間隙を埋められないのか？	100
すべてを総合する：政策の順序	107

障害を乗り越える方法：政策の優先順位を選択する 110

注 113

参考文献 114

**スポットライト 2 貧困層の食料消費を保護する：エチオピアとエルサルバドル
におけるセーフティネットの役割 116**

PART II 重要な社会システム 119

CHAPTER 3 家計はリスクに対抗し機会を追求するための 第一線の支援である 121

良い時も悪い時も一緒 121

家計はどのようなリスクに直面し、どのように対処しているか？ 122

家計はリスクを管理する準備をどのように行い、どのような
障害に直面するか？ 127

政府はどうしたら家計のために保護を強化し、より良い機会を
発展させることができるか？ 135

すべてを総合する：政策実施のための指針 144

注 147

参考文献 149

**スポットライト 3 トルコとキルギスにおける国民皆健康保険
の適用に向かう動き 152**

CHAPTER 4 結束力があり、結び付きのあるコミュニティ間では 強靱性が生まれる 157

コミュニティは多くのリスクに直面している 157

リスク管理者としてのコミュニティ 158

保険提供者としてのコミュニティ 162

保護提供者としてのコミュニティ 164

結束力や結び付きの強いコミュニティはより有効である 167

地方リスク管理を改善するための公的政策 172

すべてを総合する：強靱なコミュニティを発展させるための
政策原則と研究の優先課題 180

注 183

参考文献 185

**スポットライト 4 刑事司法が十分でない場合：ブラジルと南アフリカの都市部におけ
る統合的な犯罪・暴力の防止策 188**

CHAPTER 5 活気のある企業部門を通じて強靱性と繁栄を促進する 193

仕事を創出し革新を支援する 193

企業部門として人々がリスクに立ち向かうのを支援する方法 195

企業部門における柔軟性と公式性は人々の強靱性と繁栄を改善する 199

政府は企業部門が柔軟性と公式性を高めるのをどうしたら
支援することができるか？ 207

すべてを総合する 213

注 216

参考文献 217

**スポットライト 5 労働市場の柔軟性を増大させる動き：インドの
平坦ではない道 220**

CHAPTER 6 リスク管理に金融システムが果たす役割： 金融ツールが多いほど金融危機は少なくなる	225
金融システムはリスク管理という社会的に有益な役割を 果たすことができる	225
良いリスク管理のためには、人々は広範な金融ツールを必要とする	226
金融危機は人々に損害をもたらす：どのようにしたら防げるか？	237
金融について発展と安定性の間の緊張関係を解決する	245
政策勧告の要約	252
注	254
参考文献	256
スポットライト 6 チェコ、バルー、ケニアにおけるグローバルな経済的ショックに対 する強靱性の構築	260
CHAPTER 7 マクロ経済リスクを管理する：政策でより良い結果を 出すためにより強固な制度を構築する	265
健全なマクロ経済政策を通じて強靱性を高め機会を有効に活用する	265
マクロ経済政策の目標を総合的な安定性に向ける	266
安定化政策や長期的社会プログラムの資金を調達するために 持続可能な財政資源を創出する	277
すべてを総合する：マクロ経済レベルのリスク管理を改善するために、 回避すべきこと、および実施すべきこと	283
注	287
参考文献	288
スポットライト 7 国境なき疾病：流行病のリスクを管理する	290
CHAPTER 8 国際社会の役割：リスクが各国の能力を超過する場合	295
グローバルな問題はグローバルなプレイヤーを求めている	295
どのような状況が国際社会の行動を求めるのか、それはなぜか？	296
国際社会はどうやってリスク管理の質を高めるか？	301
グローバル・リスクの解決に国際社会はどの程度有効なのか？	306
政策がもつ意味と各国が実施すべきこと	315
注	321
参考文献	323
政策改革の焦点 リスク管理を開発アジェンダの主流にする： 主要な制度改革	326
補遺	341
略号	343
データ注	344
背景論文	345
主要指標	347
テクニカル・ノート	385
索引	393

ー ボックス ー

- 1 リスク管理のプロセスに関する『世界開発報告 2014』からの 5 つの鍵となる洞察 4
- 2 リスクを伴う世界：地域を越えたリスクのトレンド 10
- 3 リスクに対する備えが国によってどの程度異なっているか？ 16
- 4 リスク管理にかかわる必須事項と障害を政策設計でひとまとめにする 18
- 5 どのシステムがどのリスクに対応？ 22
- 6 社会保険へのアクセスは就業上の地位と結び付けられるべきか？ 31
- 7 独立的な財政評議会は財政の正循環的なバイアスを克服するのを後押しできる 37
- 8 気候変動のような一定のグローバル・リスクに関して、国際社会はグローバルな解決策につながり得る漸進的なアプローチを採用すべきである 41
- 9 『世界開発報告 2014』の主要な政策勧告 42
 - 1.1 リスクを伴う世界：リスクは時期と地域によって異なる 60
 - 1.2 貧困は減少したものの、世界中で大勢の人々が貧困に陥りやすいままである 65
 - 1.3 リスク回避が損失回避になる時：効用理論からの意見 68
 - 1.4 途上国は時とともに強靱性を強化してきている 71
 - 1.5 新しい情報通信技術をリスク管理に利用する 73
 - 1.6 保護と保険はリスク管理のために補完的な手段を提供することができる 76
 - 1.7 リスクの備えは地域・大陸の間でも、そのなかでも差がある 77
 - 1.8 「人工の」惨事：日本における福島の原因子事故 79
 - 2.1 不合理、不確実、および近視眼：一部の古典的な実験が人間行動に関する驚くべき事実を明らかにする 94
 - 2.2 リスク管理を改善するために専門家と政策をつくる当局の相互作用を強化する 99
 - 2.3 リスク管理を改善するための制度：国家によるリスク評価 103
 - 2.4 ホーチミン市では洪水のリスクに対処するために頑健な意思決定方法を適用 108
 - 2.5 リスクに直面した際の予防措置：費用便益と予防原則の間で調整を図る 109
 - 3.1 利他主義、社会規範、および互惠：家族はどのような動機から互いを気遣うのだろうか？ 124
 - 3.2 民間部門とパートナーを組むことによってサービス提供を改善する 137
 - 3.3 指数型保険：潜在性と挑戦 140
 - 4.1 富の共有が宗教的な義務の場合：イスラムのコミュニティにおけるザカート（喜捨）の利用 161
 - 4.2 難民と国内避難民：避難の管理から機会の円滑化への移行 171
 - 4.3 新しい通信技術はコミュニティが暴力や地方紛争を管理するのに役立つ 174
 - 4.4 清潔、緑色、そして青色：シンガポールにおける水と洪水の管理 177
 - 4.5 タンザニア農村部で衛生設備へのアクセスを増やすために、ソーシャル・マーケティングを活用 179
 - 5.1 労働者、消費者、および環境の保護は儲かるビジネスにもなり得る 198
 - 5.2 大恐慌からの教訓 202
 - 5.3 グローバル化と公式性の複雑な関係 205
 - 5.4 コートジボワールで起きた市民暴動期における電力部門の強靱性は契約保護によって牽引された 209
 - 5.5 社会的扶助を伴う労働市場の柔軟性：ドイツとデンマークの事例 211
 - 6.1 現金より優れている：電子決済はリスクとコストを削減する 228
 - 6.2 住宅金融は家計の強靱性と機会を改善することができる 229
 - 6.3 モンゴルとメキシコにおける革新的な保険メカニズム 233
 - 6.4 老齢期の所得損失リスクに立ち向かうための私的年金保険 234
 - 6.5 危機シミュレーション演習で銀行危機に備える 244
 - 6.6 金融救済：「潰すには大きすぎる」とモラル・ハザード 246
 - 7.1 世界経済の新たな常態：先進国におけるマクロ経済政策の不確実性の高まり 267
 - 7.2 金融政策の柔軟性を放棄する：究極の犠牲？ 271
 - 7.3 ほとんどの途上国では反循環的ツールとして、金融政策に代わって所要準備政策が用いられている 273
 - 7.4 財政刺激策：良い、悪い、醜い 276
 - 7.5 チリにおける商品収入の管理：健全な制度構築と公共資源の管理の事例 280
 - 7.6 コンロンビアにおける財政リスクの開示：リスク管理に関するより大きな透明性と信頼性への道 283
 - S7.1 最上級のグローバルな巨大リスクへの緊急対応：H5N1 型鳥インフルエンザがどのように国際社会を騒がせたか？ 292
 - 8.1 気候変動と開発が持つ意味 300
 - 8.2 災害リスク管理に向けた国際支援 305
 - 8.3 地域的なリスク分担の解決策：災害リスクに対して金融面での強靱性を促進 307
 - 8.4 災害リスクを評価するためにツールやデータベースを提供するグローバルな取り組み 308
 - 8.5 脆弱紛争被災国では、リスク管理が良ければ開発機会の可能性は広がる 310
 - 8.6 2 つの災害物語 318

— ダイアグラム —

- 1 リスク連鎖：結末の性格と程度はショック、
受ける影響の程度、内部環境、およびリスク管理に
依存する 12
- 2 リスク管理の相互連結した構成要因 14
- 3 鍵を握る社会経済システムは補完的な形で
リスク管理に貢献できる 21
- 4 国家リスク理事会の制度設計におけるトレードオフを
調整する 43
- 1.1 リスク連鎖：結末の性格と程度はショック、
受ける影響の程度、内部環境、およびリスク管理に
依存する 70
- 1.2 リスク管理の相互連結した構成要因 72
- 2.1 個人、企業、および国はリスク管理に関して多くの

- 障害に直面している 92
- 2.2 不確実性に直面するなかで確固とした行動を促進
するための意思決定にかかわる反復のプロセス 107
- 2.3 リスク管理に対する障害を評価して政策対応を
策定するための一連のスクリーン 110
- 4.1 主要な3種類の暴力とその広がり 167
- 6.1 金融ツールを組み合わせると、さまざまな確率と
厳しさの損失に対する備えを改善できる 227
- 8.1 国際社会の主体 296
- 8.2 国際社会の役割 301
- F1.1 国家リスク理事会の制度設計におけるトレードオフを
調整する 328

— 図 —

- 1 世界中の大勢の人々は非常に貧しいか、貧困に
非常に近い生活をしており、彼らは環境の悪化に
襲われれば、貧困のなかにより深く落ち込んでいく
懸念が大きい 5
- 2 リスク管理の便益はしばしば費用を上回る 9
- 3 途上国における教育と健康の成果は改善しつつ
あるものの差異がみられる 24
- 4 人々は独自に、また、他人とリスクに協同して
取り組むことによって、ショックに対応している 26
- 5 特にサハラ以南アフリカや南アジアを中心に、
途上国では自己雇用がより一般的 28
- 6 製品・労働市場の柔軟性と公式性は国ごとに
大きな差異がある 30
- 7 所得水準がさまざまな途上国における貯蓄、信用、
および保険の金融包摂 32
- 8 経済、金融、および社会の相互連結性は増加傾向に
ある 39
- 1.1 途上国の家計はリスクに弱いと感じており、それを
懸念している 62
- 1.2 リスク管理手段は人々の機会の追求に役立つ 66
- 1.3 リスク管理の便益はしばしばその費用を凌駕する 79
- 3.1 家計に対するショックは各国間で大きく
異なっている 123
- 3.2 高齢者は他の家族と同居していることが多い 124
- 3.3 幼い時に家庭内暴力を経験した男子は成人して
から暴力を振るう可能性が大きい 127
- 3.4 すべての地域で予防接種率が上昇し幼児死亡率が
低下している 128
- 3.5 非伝染性疾病による死亡リスクがすべての発展途上
地域で増加している 129
- 3.6 予防医療製品の需要は価格が上昇すると
急減する 129
- 3.7 低所得国は教育達成度では依然として後れを取っ
ており、中所得国のなかには質の格差に苦しんでいる
国もある 130
- 3.8 特に低所得国を中心に貧困家計の場合、教育
達成度には依然として男女格差がある 131
- 3.9 女性の労働力参加は一部の地域では依然として
限定的である 134
- 3.10 社会規範は多くの地域で家庭内暴力を
容認している 138
- 3.11 非拠出型年金制度が途上国で、特に最貧層向けを
中心に、適用範囲を拡大している 142
- S3.1 所得の地位別に見た医療ケアの利用と自己負担の
医療費支出（キルギス、2009年） 153
- 4.1 人々やコミュニティは固有のショックとシステミックな
ショックの両方から影響を受けている 159
- 4.2 人々は独自に、あるいは他人と一緒にリスクに対処
することによって、つまり非公式な信用や援助を頼り
にしながら、ショックに対応している 163
- 4.3 東ヨーロッパ・中央アジアでは社会資本が高価な
対処策を削減するのに役立っている 163
- 4.4 危険性は被害者に大きな影響を与える 166
- 4.5 任意団体の会員数は世界各地で異なっている 169
- 4.6 民族性に基づく社会的排除は世界の多くの地域で
減少していない 171
- 4.7 だれを信頼するか？ 警察、政府、および宗教
指導者に対する信頼 175
- 4.8 トイレよりも携帯電話をもっている人のほうが多い——
最も基本的な保護の提供にかかわる失敗を例示 178
- S4.1 主要都市の殺人率 188
- 5.1 賃金雇用は経済発展の水準に伴って増加する 195
- 5.2 企業部門の柔軟性は世界中でバラツキがある 200
- 5.3 規制上の負担が重い国はより深刻な不況を
経験している 201
- 5.4 企業部門の公式性は世界各地で異なっている 203
- 5.5 製品、労働市場の柔軟性、および公式性による
国別類型 207
- 6.1 個人が使う公式な金融ツールの範囲は国や所得に
よって異なる 230
- 6.2 金融システムは深化に伴って制度的な構造が多様化
する 231
- 6.3 公式および非公式な貯蓄と借入は国の発展に伴って
変化する 235
- 6.4 銀行の全体的な借換リスクと外貨ミスマッチが、途上国
ではシステミック・リスクを増大させることがある 239
- 6.5 慎重な金融包摂は金融の安定性を高めることが

できるが、行き過ぎると弱める	248	8.2 2011 年の調査では気候変動に関して国益の 相違と近視眼的な見方が明確になった	312
S6.1 銀行の不良貸出（対総貸出比率、 2007-11 年）	262	8.3 援助国の災害関連援助は備えや予防よりも対処に 焦点を当てている	313
7.1 実体経済活動は、途上国ではより変動性が高く、 より大きく低下する公算が大きい	269	F1.1 非拠出型年金プログラムは、途上国では特に貧困層 向けを中心に、適用範囲を拡大してきている	332
7.2 一部の途上国では金融政策が反循環的になって きている	270	F1.2 適用範囲の拡大は、人口の高齢化が進展している 国では支出水準の増加をもたらす	333
8.1 途上国では災害による損害が当該国の 1 年分の GDP を上回ることもある	298		

一 用語集 一

1.1 リスク管理に関連のある用語	67
2.1 本報告書を通じて使われている経済用語	91

一 地図 一

1 世界の銀行危機（1970-2011 年）	33	7.1 政府消費は過去 10 年間に途上国の 3 分の 1 以上で 反循環的になった	275
2 政府消費は過去 10 年間に途上国の 3 分の 1 以上で 反循環的になった	36	8.1 途上国は災害に関して総じて高い死亡率を経験 している	298
2.1 有効な防止策がないと、危機が繰り返される	90		
2.2 憂慮すべき将来：アフリカにおける降水量の変化は モデルによって非常に異なる	106		

一 プロフィール 一

1 ゴメス一家：リスクと強靱性に関する現代の物語	8
--------------------------	---

一 表 一

1.1 途上国の家計は多くのショックに直面している	61	6.2 国の金融部門戦略文書において、金融の発展と 安定性の間のトレードオフを考慮しているものは ほとんどない	249
3.1 貧困家計はショックにコストの高い方法で対処したと 回答する割合が高い	126	6.3 主要途上国における金融安定委員会の構成	250
3.2 多数の手段を使って多数のリスクに取り組む政策に かかるシステミック・アプローチ	135	6.4 リスク管理における金融システムの役割を改善する ための政策優先課題	252
3.3 医療保険の適用範囲を拡張するプログラムに 共通する特徴	141	7.1 財政リスクを防止する、あるいはそれに対処する ための政策	278
3.4 リスク管理を家計レベルで改善する政策の 優先課題	145	7.2 マクロ経済レベルでリスク管理を改善するための 政策の優先課題	285
4.1 コミュニティ・レベルでリスク管理を改善するための 政策の優先課題	181	8.1 グローバルな措置の実例とそれが与えた影響の 背後にある要因	303
5.1 企業部門のリスク管理における役割を改善するための 政策の優先課題	214	8.2 国際社会レベルでリスク管理を改善するための 政策の優先課題	317
S5.1 インドにおける労働規則の研究	221	F1.1 炭素排出を制限する各国の政策措置	335
6.1 マクロ・プルーデンス手段の分類	243		